

生活を豊かにする楽しい活動

地域を明るくする社会活動

高壮だより水戸



若手高齢者世代の 勧誘が急務

水戸市高齢者クラブ連合会 会長 清水 昭郎

日本全国が灰燼に帰した終戦から70年を数える本年。

高度成長期に、額に汗して今日の日本を築いたいわゆる「団塊の世代」がすべて65歳以上の高齢期を迎える。

高齢者クラブにおいても、長寿社会を先導する役割が期待されるこの世代に、ぜひとも活動の主力になってもらうべく、仕組みづくりを整えることが急務である。

その一つに、若手高齢者世代を意識した情報発信、勧誘強化と交流拠点となる生涯学習サークル等の開設が考えられる。

水戸市のクラブは、全老連表彰である「活動賞」を賞創設以来7年連続、そのうち3年は仲間づくり、健康づくり、ボランティア活動の3部門を同時、連続受賞するなど、16の単位クラブなどが受賞している。

こうした先進的、模範的かつ「楽しい」バランスの取れた活動の実施状況を発信し続けることが共感を得ることに繋がってくる。

継続中の「会員増強運動」では、26年度末で約500人の純増となった。会員一人ひとりが「高齢者クラブ」活動の良さをアピールしていただいた結果である。深謝したい。

なお、今年は、介護保険制度の改正により、行政を軸にした新たな「地域支援事業」が始動する年でもある。これまで培ってきた「友愛・サロン活動」をさらに進めて、地域支え合いづくりの一翼を担うことが、超高齢社会を明るく豊かな長寿社会へと創り上げることに繋がることを願って活動を進めていきたい。

平成27年度 水戸市高齢者クラブ連合会定期総会

